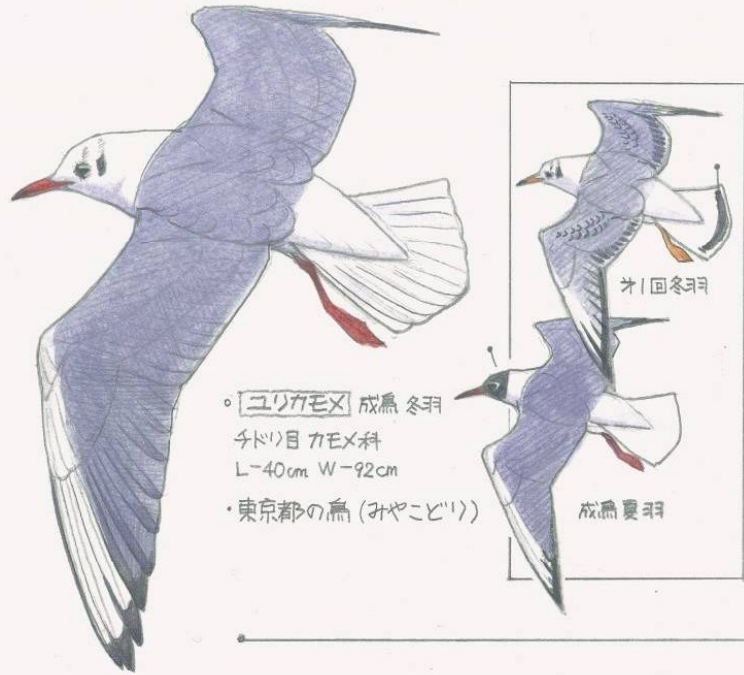


厳冬 12.1.2月

・陽だまりに鳥たち集うころ — 川や池・水辺のいぎものたち

めぐろの街にも冬越しのために遠い北国から渡り鳥たちが飛来します。庭や公園にはツグミやジョウビタキ、水辺ではカモやカモメ類が陽だまりを求めます。空を飛ぶタカ類を見ることも多くない、小鳥たちは、枝かげで身をすくめます。



・ヨリカモメ 成鳥 冬羽
チドリ目 カモメ科
L-40cm W-92cm
・東京都の鳥 (みやこどり)

オノノ冬羽
成鳥 夏羽

・碑文谷公園



・碑文谷池 — 農業用水池として古くから守られ、昭和の始めに公園(碑文谷公園)としての永久保存を条件に当時の東京市に寄付されました。かつては「鳥池」とも呼ばれ、今でも冬にはカモの群れが泳ぎます。

・混群 — シジョウカラの群れにいろいろな鳥たちが混じっている。

・区内でも見ることのできるタカ類の見分け方 (シルエットと大きさ比べ)



碑文谷池の生物



・目黒川

たいへん汚れた川でしたが、1995年に新宿区落合の下水処理場から地下を運ばれてきた高度処理水が流されるようになって水質が改善し、水がぐも増して東京湾からさまざまないぎものたちが上ってくるようになりました。

・船入場より上流方向を望む。



・こんな出会いも。春や秋の「いぎもの発見隊」活動では親子も参加し、投網(とあみ)などで魚を捕まえます。



・いぎもの発見隊の記録 東京湾からやってくるのはボラ、マユ、マハゼ、ウナギ、モズクガニ



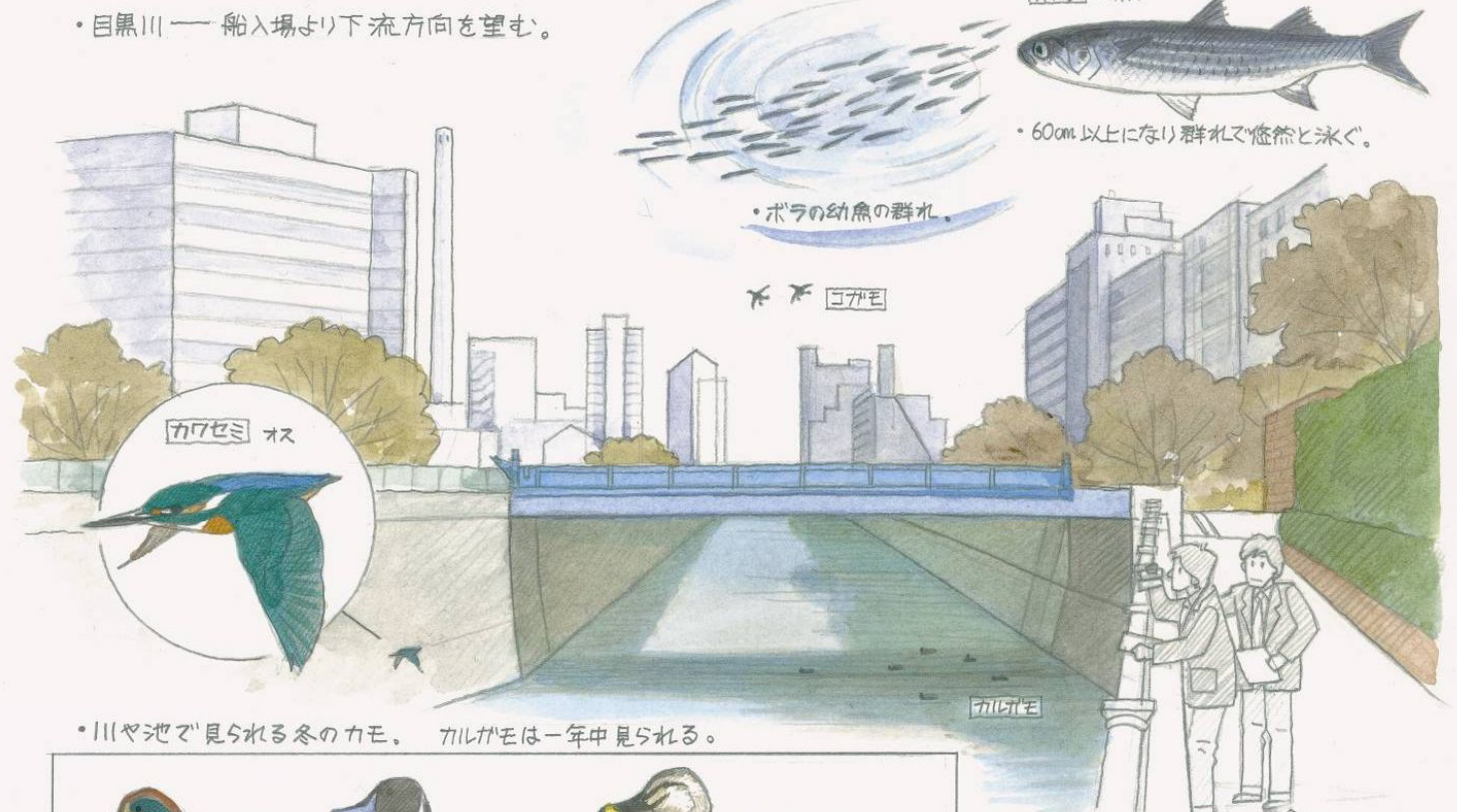
ジョウビタキ オス

・清流石や小さな岸の葦みに鳥たちの姿がある。



・清流石に止まり羽を乾かすカワウ。

・目黒川 — 船入場より下流方向を望む。



ボラ 成魚



・60cm 以上になり群れで悠然と泳ぐ。

・ボラの幼魚の群れ

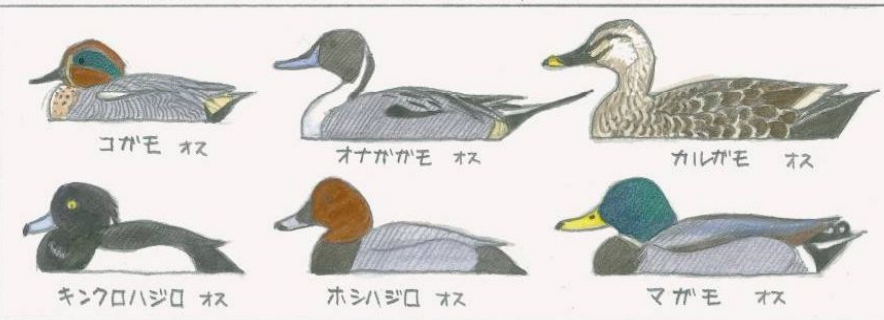


コガモ



カワセミ オス

・川や池で見られる冬のカモ。 カルガモは一年中見られる。



コガモ オス

オナガガモ オス

カルガモ オス

キンクロハジロ オス

ホシハジロ オス

マガモ オス

・こんな出会いも、近くの高校生たちは授業で川の自然の定点観察をしています。

